

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 国際収支(2018年4月)

発表日: 2018年6月8日(金)

～貿易収支の改善により、経常収支の黒字幅は拡大～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 副主任エコノミスト 小池 理人

TEL : 03-5221-4573

| | | 原数値 経常収支 (億円) | 季調値 経常収支 (億円) | 貿易・サービス収支 | | | 第一次所得収支 | |
|------|------|---------------------|---------------------|-----------|---------|---------|---------|--------|
| | | | | | | | | |
| | | | | | 貿易収支 | サービス収支 | | |
| 2017 | 5月 | 16,932 | 15,896 | 1,586 | 3,205 | ▲ 1,620 | 15,973 | |
| | 6月 | 9,252 | 15,544 | 1,453 | 2,092 | ▲ 638 | 15,982 | |
| | 7月 | 23,471 | 18,649 | 4,062 | 5,136 | ▲ 1,074 | 16,469 | |
| | 8月 | 24,007 | 21,030 | 5,146 | 5,749 | ▲ 603 | 17,979 | |
| | 9月 | 22,583 | 18,377 | 3,993 | 4,898 | ▲ 905 | 16,367 | |
| | 10月 | 21,885 | 22,961 | 7,286 | 5,352 | 1,934 | 17,467 | |
| | 11月 | 13,407 | 18,652 | 4,036 | 4,824 | ▲ 788 | 16,605 | |
| | 12月 | 7,965 | 17,335 | 2,545 | 2,730 | ▲ 185 | 17,063 | |
| | 2018 | 1月 | 6,074 | 18,756 | 4,291 | 5,187 | ▲ 896 | 15,965 |
| | | 2月 | 20,760 | 9,631 | ▲ 3,181 | ▲ 2,914 | ▲ 267 | 14,717 |
| | | 3月 | 31,223 | 17,723 | 3,278 | 4,896 | ▲ 1,618 | 16,091 |
| | | 4月 | 18,451 | 18,855 | 5,200 | 6,687 | ▲ 1,487 | 15,085 |

(出所) 財務省「国際収支統計」

○経常収支(季調値)は貿易収支の改善を主因として黒字幅が拡大

4月の経常収支(原数値)は18,451億円の黒字(コンセンサス:21,478億円の黒字、レンジ:17,302~27,677億円)とコンセンサスを下回る結果となった。季節調整値では18,855億円の黒字となり、前月から黒字幅が拡大した。

経常収支(季節調整値)の黒字幅拡大の主因は、貿易収支の改善(3月:+4,896億円→4月:+6,687億円)である。原油価格の上昇を主因として輸入が前月比+2.0%と増加したものの、輸出が前月比+4.6%と高い伸びを示したことで貿易収支の黒字幅は拡大した。4月の貿易統計をみても、EU向けの輸出を牽引役に実質輸出は前月比+4.2%と高い伸びになっており、好調な世界経済を背景に輸出の増加基調が続いていることが確認できる。

○証券投資収益が大きく減少

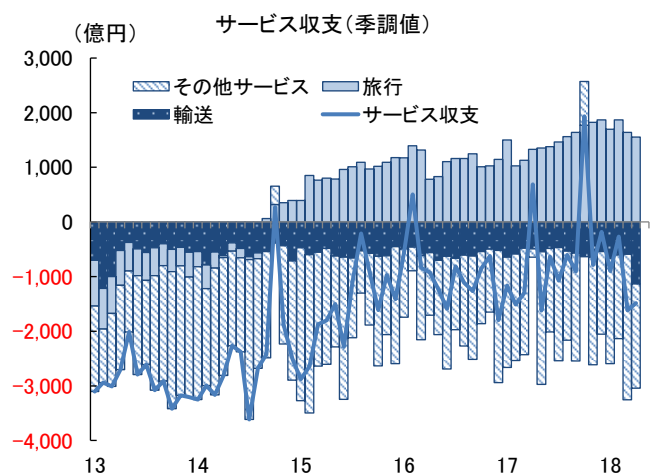
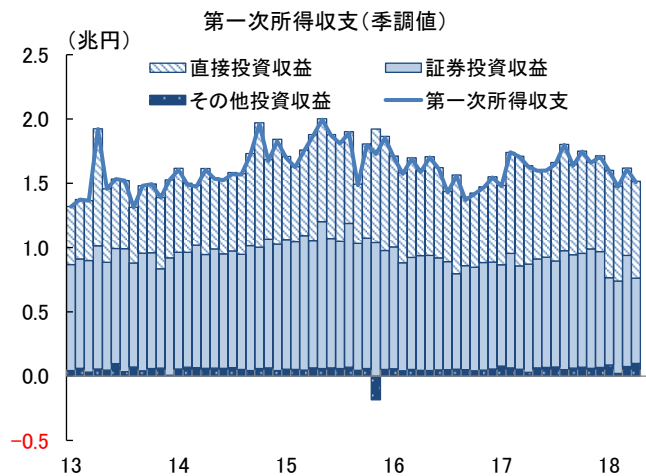
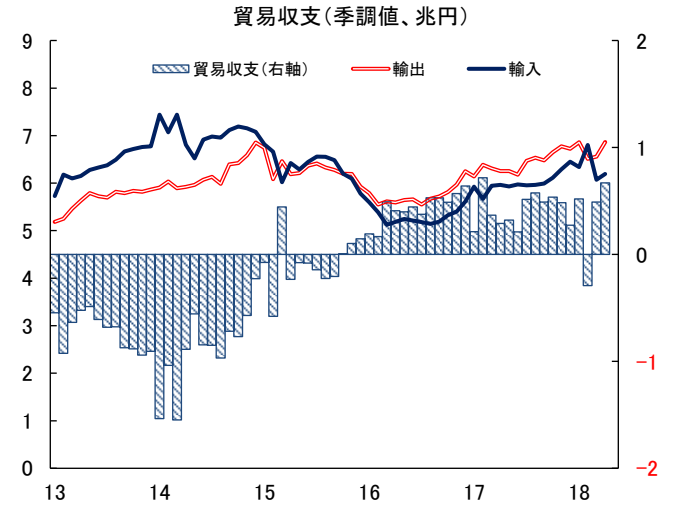
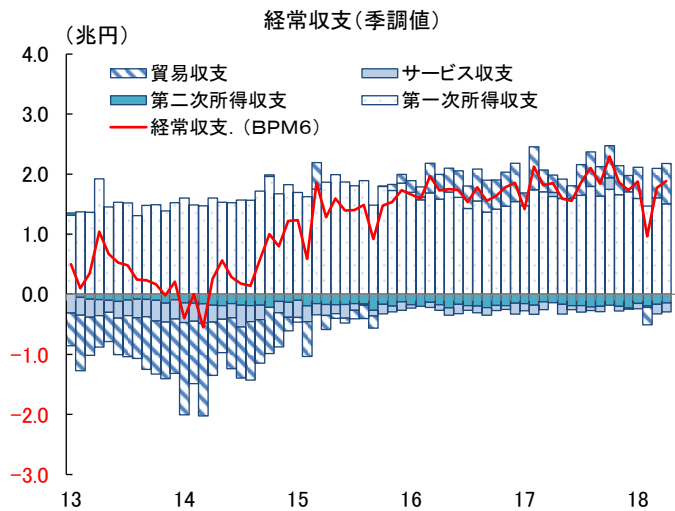
4月の貿易外収支(季節調整値)をみると、第一次所得収支は15,085億円の黒字と前月から黒字幅が縮小した。直接投資収益の黒字幅は拡大したものの、証券投資収益が大きく減少(3月:+8,649億円→4月:+6,638億円)したことが影響した。

サービス収支は、▲1,487億円と前月から赤字幅が縮小した。内訳をみると、輸送収支が赤字幅を拡大し、旅行収支が黒字幅を縮小する中で、その他サービス収支の赤字幅が大きく縮小し、サービス収支の赤字幅は縮小した。

○経常収支は引き続き高水準を維持する見込み

以上のように、4月の経常収支（季節調整値）は、貿易収支の黒字幅拡大を受けて、前月から黒字幅が拡大する結果となった。

経常収支の先行きは、高水準での横ばい圏内で推移すると予想している。貿易収支について、輸出額は好調な世界経済を背景に今後も増加傾向で推移することが見込まれる。為替の円安方向への推移も輸出額の追い風になるとみている。ただし、原油価格が高値圏での推移を続けていることから、先行き輸入額の増加が予想され、貿易収支が一段と改善する可能性は低いだろう。所得収支については、好調な世界経済を背景に、直接投資収益・証券投資収益ともに増加基調で推移するとみている。総じて、経常収支は、先行き高水準での横ばい圏内での推移を続けるだろう。



(出所)財務省「国際収支統計」